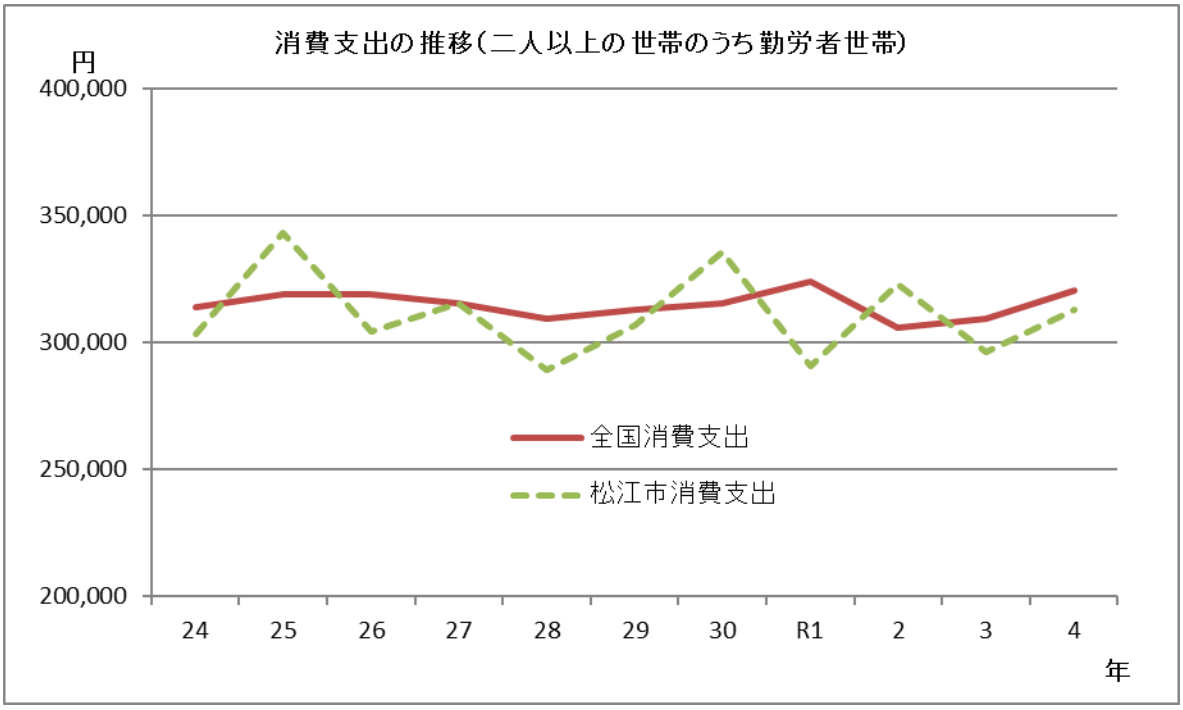
家計消費の推移

１．消費支出の推移

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の１世帯当たりの年平均１か月間の消費支出は、令和４年で313,030 円となり、前年より 16,785 円の増加であった。

また、全国は 320,627 円となり、前年より 11,158 円の増加であった。

平成 24 年以降の推移をみると、平成 25 年、30 年及び令和 2 年を除き全国を下回っている。（図１）



消費支出額を費目別に 10 年前と比較（表１）すると、「教育」が 43.8%、次いで「光熱・水道」が 24.3%増加した。一方、「住居」は 39.4%、「被服及び履物」は 19.3%減少し、全体では 3.2%増加した。

（表１）

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の１世帯当たり
年平均1か月間の消費支出（松江市）

十大費目	H24	R4	比較（%）
消費支出（円）	303,398	313,030	3.2
食料	64,690	76,444	18.2
住居	27,254	16,516	−39.4
光熱・水道	23,056	28,660	24.3
家具・家事用品	10,095	11,766	16.6
被服及び履物	11,322	9,139	−19.3
保健医療	10,068	12,091	20.1
交通・通信	51,642	54,920	6.3
教育	7,486	10,766	43.8
教養娯楽	25,112	29,414	17.1
その他の消費支出	72,674	63,313	−12.9